

令和 5 年 3 月 24 日

肥料コスト低減対策緊急転換事業の取組結果について

有限会社新福青果
農産事業本部

令和 4 年 6 月 13 日から令和 5 年 3 月 31 日まで、肥料価格低減対策緊急転換事業を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

【取組内容】

- 土壌診断を実施した。
- 作業委託による堆肥散布を実施した。
- 土壌診断および堆肥散布の結果を踏まえ、圃場ごとに施肥設計を変更した。

【取組結果（人参）】

- 土壌診断結果をもとに一部の圃場で石灰等の施用を省略した。
- 堆肥の肥料効果を施肥設計に反映することで、リン単肥を中心に施肥量を削減した。
- 上記取組により、慣行体系に比べて肥料コストを 17.7%削減した。

【取組結果（牛蒡）】

- 土壌診断結果をもとに一部の圃場で石灰等の施用を省略した。
- 成分構成が極端な圃場では、大幅な減肥や、一般的な牛蒡用肥料を使用せず、必要成分のみ補給する施肥設計も試行した。
- 複数の堆肥を使い分け、堆肥の肥料効果を施肥設計に反映することで、施肥量を低減。
- 上記取組により、慣行体系に比べて肥料コストを 36.7%削減した

【取組結果（里芋）】

- 土壌診断結果をもとに一部の圃場で石灰等の施用を省略した。
- 複数の堆肥を使い分け、堆肥の肥料効果を施肥設計に反映することで、施肥量を低減。
- 一方で、肥料の銘柄は細かく使い分けず、特定の銘柄を大ロット発注することで、単価低減を図った。

- 上記取組により、慣行体系に比べて肥料コストを 44.2%削減した。

【取組結果（甘藷）】

- 土壌診断結果及び堆肥施用計画を踏まえ、自社の土壌特性に最適化されたオーダーメイド肥料の製造を依頼した。
- 土壌診断結果をもとに一部の圃場で石灰等の施用を省略した。
- 上記取組により、慣行体系に比べて肥料コストを 31.0%削減した。
- 肥料コスト削減の他、オーダーメイド肥料により、複数の肥料効果を 1 俵に纏めたため、管理する肥料の銘柄が 1 施肥体系に対して 4 種類から 2 種類へと減少し、管理コスト、混合・散布コストの低減も実現した。（定量評価困難）

【備考】

- 本報告による肥料コスト算出にあたっての各種肥料の単価について、昨今の肥料価格の高騰を踏まえ、比較対象となる慣行体系においても、肥料の単価は取組時の単価としております。